



日本海洋政策学会 創立10周年 第10回 年次大会

- ◎統一テーマ：『新たな海洋立国への挑戦 —科学・技術・海洋政策の統合—』
◎日時：2018年12月7日(金) 9:30~17:45 (交流・懇親会 18:00~)
◎場所：笹川平和財団ビル 11F 国際会議場(虎ノ門)
◎プログラム

- 9:30 開会挨拶 日本海洋政策学会会長 奥脇 直也
来賓挨拶 日本財団会長 笹川 陽平
- 9:35 基調講演
「調整中」 武見 敬三 参議院議員
「第3期海洋基本計画の技術内容とその実現策」
大和 裕幸 (国研) 海上・港湾・航空技術研究所理事長
- 10:30 研究発表(その1) 【座長：都留 康子 (上智大学)】
「外国船舶に対する寄港管轄権の法的限界 — 外航海運における地域規制の問題を中心に—」
森本 清二郎 (日本海事センター)
「SANCHI 号衝突事故が提起した東シナ海管理に関する課題」 下山 憲二 (海上保安大学校)
「IUU 対策としてのFAO「旗国責任遵守のための自主的指針」の法政策的意義」
吉原 司 (姫路獨協大学)
- 11:30~12:10 第10回 定例総会(会員)
<12:10~13:30 休憩・昼食>
- 12:50~13:30 ポスター セッション (11F 国際会議場ロビー) (発表者は次頁参照)
- 13:30~13:50 学生小論文表彰式
- 13:40 研究発表(その2) 【座長：鈴木 崇之 (横浜国立大学)】
「次世代海洋資源調査技術開発に対する民間企業の取り組み」
河井 展夫 (次世代海洋資源調査技術研究組合)
「海底資源探査に係る環境影響評価制度の内外比較」 青木 望美 (横浜国立大学)
「海洋プラスチックごみの管理実態と問題構造」 塩入 同 (笹川平和財団)
「水中文化遺産に対する法制度的及び技術的検討」 中田 達也 (東京海洋大学)
- <15:10~15:30 休憩>
- 15:30 パネル・ディスカッション：テーマ【第3期海洋基本計画の着実な実施】
モデレータ：來生 新 (放送大学学長/日本海洋政策学会副会長)
パネリスト：上田 悦紀 (日本風力発電協会理事)
加藤 茂 (日本水路協会理事長)
佐藤 慎司 (東京大学教授)
深沢 理郎 (海洋研究開発機構)
- 17:30 閉会挨拶 日本海洋政策学会副会長 寺島 紘士
- 18:00 交流・懇親会 10F 食堂 (会費制)

◎ポスターセッション

12:50~13:30

(敬称略、順不同)

「境界画定紛争の解決における平和パイプラインとエネルギー通過計画の意義」

大河内 美香 (東京海洋大学)

「港湾海象観測網による沿岸防災や海況把握への貢献」

永井 紀彦 ((株) エコー)

「テキストマイニング手法による海洋政策の構造化の試み」

中原 颯太 (大阪府立大学)

「島しょの高校生の海洋についての意識及び行動について」

千葉 勝吾 (東京都立八丈高校)

「ネットワーク・ガバナンスによる沿岸域多段階管理の可能性」

日高 健 (近畿大学)

◎参加費： 年次大会 学会員 3,000円 非会員 5,000円
(学生会員無料、学生非会員 1,000円)

(注) 日本沿岸域学会員の方は会員価格で参加できます

交流・懇親会 一般 5,000円 学生 2,000円

◎参加申込： 当学会のホームページ上から所定の申込書を利用してお願いいたします。

<http://oceanpolicy.jp>

〆切 11/26 (月)

〒105-8524 東京都港区虎ノ門一丁目15番16号 笹川平和財団ビル

■最寄り駅 地下鉄銀座線 虎ノ門駅 (4番出口) より徒歩1分

